

## 【資料 2-1】各団体のメディアに関する取組

### ●松江市医師会（田草雄一会長）

個人的活動が中心です。

1) 島根県教育庁主幹の子どもの健康づくり事業「専門家・専門医による指導事業（メディア）」に派遣講師として参加。年 2 回程度、県内の小中学校においてメディア教育講演を実施。これとは別に個別依頼に応じて年数回講演を実施。

2) ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会の共同代表に就任し、ネット健康問題の啓発のための研修会を年数回開催し、資料の監修等に従事。

### ●しまね“あそぼっ！”の会（坂本和子副会長）

○乳幼児の発達に必要な環境を家庭・地域につくることを目的に、「スマホがダメなら、どうする？」に答え、乳幼児の外あそび体験「おそとであそぼっ！」を月 1 で出雲かんべの里で実施。子育て情報として、メディア・イベント等を発信中。

○子育て当事者へ、松江市子育て支援センター・子どもアート Day で、年間実施計画を配布

○大田市で、「おそとであそぼっ！」実施 ㊟ (2/23)

○おそとであそぼっ！IN出雲かんべの里(松江) 2025 年度：10 回開催 参加者 22 家族 45 人 満足度 100%が多く、親も子も楽しめたようだ

〈参加親子アンケートより〉

- ・子どもがすごく良い表情をしていた
- ・普段体験できないことができた
- ・子どもがよろこんでいた
- ・あっという間の 1 時間
- ・家の中では見られない目のキラキラが見えた
- ・リフレッシュできた

### ●島根大学人間学部（高橋悟委員）

○ホームページ <https://www.psy.shimane-u.ac.jp/counseling/> の「ご相談内容」の中に、「メディアとの関わり方について（ゲームやネットサーフィンをやめられない、SNS によるトラブルなど）」を挙げて、案内している。実際に来談ケースがあれば、カウンセリング・プレイセラピー等の実施により対応している。

### ●鳥取大学医学部（桑原祐樹委員）

・松江市東出雲中学校での保健教室（医学部医学科の社会医学実習・桑原）【資料 1】1992 年から生活習慣づくりの一環として現地踏査および生活習慣やメディア使用のアンケートを実施し、集計や分析をもとに大学生と中学生のピア教育を通じて啓発。

・東出雲中学校全校保健集会に大学生と参加（R5 年度より）

・東出雲学園学校保健集会へ参加【資料 2】

保護者・PTA、幼稚園、小中学校、支所と連携

・R7年とっとりサイエンスアカデミー 【資料3】

(鳥取大学地域価値創造研究教育機構主催)

「子どもたちの健やかな成長に向けたデジタル技術との付き合い方」7月12日

・中学校での活動報告を関連学会の学術誌やウェブサイトで公開【資料4】

#### ●島根大学医学部（榑原文委員）

##### 1) 母親の問題のあるインターネット使用とこどもの発育・発達との関連についての研究

平成28年4月～平成29年9月の間に、島根県松江市へ妊娠の届出を行った母親とこどもを対象とし、1歳6か月児健診および3歳児健診時のデータを用いて解析を行いました。その結果、こどもの1歳6か月時点において、母親が仕事以外で1日に5時間以上インターネットを使用していた場合、そうでない場合と比較して、こどもが3歳で重度う蝕（虫歯、喪失歯、または処置歯の合計が4本以上）になるリスクが4倍以上高まる可能性が示唆されました。口腔ケアは育児の中で優先度が低くなりがちであるため、母親の長時間インターネット使用によって浸食されやすい育児行動である可能性が高く、こどもの重症う蝕のリスク増加につながった可能性があります。この結果は、2025年7月2日にBMC Pediatricsに掲載されました。

また、島根県松江市で妊娠届出をした母子の乳幼児健診データと5歳児健診の1次スクリーニングアンケート（Strength and Difficulties Questionnaire：SDQ）を使用して、母親の問題のあるインターネット使用と5歳児の行動・情緒の課題との関連を解析し、現在、論文投稿中です。

##### 2) こどものゲーム障害・長時間インターネット使用の要因と影響に関する探索的研究

令和6年に実施された松江市「こどもの電子メディア機器利用に関するアンケート」のデータを用いて、こどものゲーム障害・長時間インターネット使用と親によるこどものメディアコントロールの関連について詳細な解析を予定しています。

#### ●松江市PTA連合会（伊藤晶弘委員）

・近年はメディアに関して直接的な取組を実施しておりません。

しかしながら、スマートフォン等を使用した犯罪やSNSによるトラブルを防ぐための研修会（講演会）を研修委員会が主体となり本年開催予定としております。

・各種会合の際に各校の情報交換が行える時間を設けて情報交換を行っております。

#### ●松江市保育研究会（大谷いづみ委員）

・松江市保育研究会としての取組は行っていないが、各々保育所（園）として実態に応じて取り組んでいるところもある。

・毎年取り組んでいる園では、家庭も含めて健康チャレンジ週間として行っているようである。

#### ●松江市幼稚園・子ども園長会（堀江佐智子委員）

○松江市幼稚園・子ども園長会として全園での共通の取り組みは行っていないが、各

園の実態に応じて、メディアに関する取り組みは行っている。

例)・保護者・園児向けのメディア研修会

- ・チャレンジシートを利用して生活リズムやメディア利用時間等の確認・意識づけ  
→親子で約束を決め、1週間程度取り組む  
3季休業中のお約束表 等
- ・小学校と連携してのメディアコントロールウィークの取組
- ・学級懇談やおたより等による保護者への啓発
- ・職員の研修

#### ●松江市小学校校長会（伊藤英俊委員）

- ・一人一台端末を活用した授業実施
- ・松江市教委 I C T 学校訪問 D A Y の実施
- ・松江市教委メディア学習の実施
- ・メディアコントロールウィークの実施
- ・学校だより、P T A だより等で、メディアコントロールの重要性等を発信
- ・学校保健員会、地域推進協議会、学校運営協議会にて協議

#### ●松江市中学校校長会（渡部一成委員）

- ・今年度も「質の良い睡眠」をテーマに、小中一貫での保健教育を実施中。
- ・鳥取大学医学部との連携により、専門的な視点を取り入れた取組を展開。  
特に中学生は、メディア（スマホ・SNS 等）と睡眠の関係に注目し、自分の生活を見直す学習を行っている。
- ・6月・11月に「かまぼこチェック」「健康生活チェック」を実施。  
→生徒自身が、睡眠やメディア使用についての実態を振り返る機会。
- ・6月に実施した保健教室では、メディアが心身に与える影響を学び、自分なりの改善策を考える活動を実施。
- ・小学校（揖屋小）でも鳥取大学による社会医学実習を通して、生活習慣を見直す学びを進めている。
- ・これらの取組は「ほっとハート東出雲学園学校保健委員会」が中心となって推進。  
学校・家庭・地域・専門職が連携し、児童生徒の健やかな成長を支援している。
- ・今後は、メディアとの上手な付き合い方」や「自己管理力の育成」をさらに強化予定。

#### ●島根の子どもとメディア研究会（伊藤紀子委員）

○「島根県専門家・専門医指導事業」「松江市の子どもの発達とメディア対策事業」からの委託を受け、県下の保育所幼稚園小中学校の幼児、児童生徒並びに保護者、教職員へ「メディア機器の望ましい利用について」啓発活動を行っている。  
その対策として下記の通り啓発での情報収集に努めているところである。

○毎月一回の連絡会及び研修会を実施

啓発活動に活用するための資料収集と情報交換

○外部講師を招いての研修会の実施

2025 年 パソコン研修会 数回の予定

講師 出雲市 コアカレッジほか

○研修会等への参加

2025 年 NPO「子どもとメディア」主催による研修会への参加

2025 年 松江市メディア教育講演会 主催 松江市教育委員会

○THInet 主催の研修会に参加・・・ZOOM 参加も含めて

2025 年 12 月 7 日 他数日

2026 年 1 月 18 日

●松江市小学校養護部会（森田牧子委員）

- ・市教委によるメディア学習
- ・「チャレンジ週間」等のメディアコントロールウィークを実施  
実施時期：学期に 1 回、長期休業中、年 2 回
- ・外部講師によるメディア講演会
- ・学校保健委員会でメディア利用について等協議する
- ・メディアと生活習慣に関するアンケートを実施（対象：小 3～6）
- ・3～6 年プログラミング学習・タイピング大会
- ・授業公開日にあわせてメディア学習

●松江人権擁護委員協議会（勝田章委員）

- ・昨年度、島根県人権擁護委員連合会こども人権委員会を中心に作成した、壁新聞「機関紙しまねこどもの人権だより第 15 号」において、「あなたを守りたい ひとりじゃない…誰かに伝え、相談しよう」をテーマに、SNS の正しい利用の仕方について特集し、県内の小・中学校及び特別支援学校へ配布し、活用を呼びかけた。今年度も引き続き、「SNS の正しい利用の仕方」に焦点を当てた壁新聞を作成する予定にしている。
- ・今年度は、松江人権擁護委員協議会こども部会の啓発活動として、市内の中学校において「SNS との正しいつきあい方」をテーマとした人権教室を実施する予定である。
- ・また、今年度は、松江人権擁護委員協議会の委員研修会として、9 月に外部より講師を招き、「メディア教育」に関する講演会を開催する予定にしている。
- ・「こどもとメディア」に特化した取組ではないが、高等学校で実施している「デート DV 防止」をテーマとした人権教室において、スマホ等の情報機器の適切な取扱いについて取り上げている。
- ・全国一斉「こどもの人権相談」強化週間や「こどもの人権 110 番」等の相談活動をさらに充実させていきたい。

●さんいん中央テレビ（山田英治委員）

- ・申し込みいただいた小学校（保護者の方含む）や児童クラブの皆様に対する社屋見学会を随時実施しています。
- ・高校生の“やってみよう”を半年間かけて実現するプロジェクト「SHIMANE みらい

共創 CHALLENGE U-18」は今年で4回目、また大学生の“やってみたいこと”“社会から求められること”を結合し、実社会の課題を解決する事業化を目指す「SHIMANE みらい共創 CHALLENGE U-25」は2回目を迎えました。  
今年はU-18が14プロジェクト、U-25は5プロジェクトが進行中です。

＜公式サイト＞

<https://mirachalle-shimane.com/>

●松江警察署 生活安全課（武田睦宏委員）

- 児童・生徒を対象として、ネット安全教室の実施。
- PTA・少年ボランティア等、大人向けの会合における講話の実施。